

**第4期米原市教育振興基本計画策定業務
に係る公募型プロポーザル審査要領**

1 目的

本審査要領は、第4期米原市教育振興基本計画策定業務の委託先を選考するための審査に関して、必要な事項を定める。

2 第1次審査の審査方法

参加資格者多数の場合、参加資格を有すると認められる応募者の中から、上位5者程度を第1次審査通過者として選考する。

- (1) 実施日 令和7年8月4日（月）【予定】
- (2) 実施方法 米原市教育委員会が、次の評価基準と評価点数に基づき採点を行い、採点結果を合計し得点の上位5者程度を選定する。
- (3) 第1次審査評価基準および点数

評価基準		評価点数
会社における業務実績	同種業務の実績がある	5
	類似業務の実績がある	3
業務実施体制	担当者の配置人数が4人以上である	5
	〃 3人である	3
	〃 2人以下である	1
管理責任者における業務実績	同種業務の履行実績がある	5
	類似業務の履行実績がある	3
	いずれの履行実績もない	0
管理責任者における保有資格	専門社会調査士を保有している	5
	社会調査士を保有している	3
	いずれも保有していない	0
参考見積書	提出された参考見積書の金額（税込）に、次の算出式により評価点を算出する。 小数点以下は切り捨てる。 ※配点－（（見積金額－最低見積金額）×（配点÷（限度額－最低見積金額）））	0～10
合 計		30

3 第2次審査の審査方法

- (1) 実施日 令和7年8月25日(月)【予定】
- (2) 実施方法 第4期米原市教育振興基本計画策定業務プロポーザル審査委員会が第1次審査により選定された者に対し企画提案についてのヒアリング等を実施し、別紙1の評価基準と評価点数に基づき採点を行う。
- なお、プレゼンテーションは、1者45分程度(説明25分以内、質疑20分程度)で審査時間は以下のとおりとし、審査は企画提案書を受け付けた順とする。

順	時間	提案者名	備考

(3) 受託者の特定方法

- ① 受託者の特定は、④に規定する審査委員会により、提案者のプレゼンテーションおよびヒアリングを行い、別紙1に定める評価基準による評価点数の各審査委員の平均点により、最高点を獲得した提案を行った者を最優秀企画提案者とし、当該業務の受託者とする。最高点の提案者が複数いる場合は、第1次審査結果を除いた各審査委員の評価点数の平均得点により決定する。

ただし、得評価点が満点の6割に満たない提案者は、受託者として特定しない。

- ② 失格要件に該当する場合は、審査対象から除外する。
- ③ 特定結果については、評価、特定後にヒアリングを行った全ての事業者に通知する。
- なお、特定結果に関する異議等は受付しない。

※結果通知日(予定) 令和7年8月下旬

④ 審査委員会の設置

ア 企画提案者の提案書等を評価するため、審査委員会を設置する。

イ 審査委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- ・企画提案書および見積書等の評価
- ・委託事業者の特定
- ・その他、委託事業者の特定に関して必要と認める事項

ウ 審査委員は、学識経験者、専門的知識を有する者および市長が適当と認める者の5人

⑤ 評価基準と評価点数

ア 第4期米原市教育振興基本計画策定業務仕様書に掲げる「5業務内容」を踏まえ、次表の評価基準と評価点数により採点を行うこととする。

イ 評価基準の詳細は、別紙1(第4期米原市教育振興基本計画策定業務に係る公募型プロポーザル評価基準)のとおりとする。

評価項目			評価点数
企画提案	計画全般	業務目的、業務内容の理解、関連計画との調整、情報収集力、独自提案	30
	現状把握	市民ニーズの把握・調査、既存データの整理・分析、現行計画の検証	30
	策定支援	業務支援・指導	10
	基本目標	提案内容	10
プレゼンテーション	説明力、回答、取組意欲		20
第1次審査結果	業務実績、業務体制、保有資格、見積金額等		30
合 計			130

別紙 1

第 4 期米原市教育振興基本計画策定業務に係る公募型プロポーザル評価基準および評価点数【第 2 次審査】

評価項目		評価のポイント	配点
計画全般	業務目的、業務内容の理解、 関連計画との調整	・業務の趣旨を的確に理解し、仕様書で定めた業務内容を十分に踏まえているか。 ・本市の現状、社会情勢を理解しているか。 ・関連計画との調整方法についての提案があるか。	30
	情報収集力	・教育に関わる国、県の動向、他市事例、先進事例等の情報収集および専門的見地からの助言、方向性等の提示が可能か。	
	独自提案	・本業務を実施する上で、他者にはない独自の具体的な提案があるか。	
現状把握	市民ニーズの把握・調査	・本計画の基礎資料とする市民ニーズの調査方法について、具体的な提案があるか。 ・アンケート質問項目に関する具体的な提案があるか。	30
	既存データの整理・分析	・既存の基礎的データや資料等の整理・分析について、具体的な提案があるか。	
	現行計画の検証	・現行計画の内容・施策推進・課題などの検証について、具体的に提案されているか。	
策定支援	業務支援・指導	・審議会や庁内会議等での審議や計画作成への支援・指導などについて、具体的に提案されているか。 ・スケジュールおよび作業工程が具体的に設定され、効率的・効果的なスケジュールとなっているか。	10

評価項目		評価のポイント	配点
基本目標	提案内容	・米原市が求める目標となっているか ・時勢を考慮した目標となっているか (例) 安心安全な学校づくり、特別支援教育の推進、教育D Xの推進、学校における働き方改革・中学校部活動の地域展開、少子化の進む教育環境の整備 など	1 0
プレゼンテーション	説明力・回答、取組意欲	・企画提案に対する説明が明確であり、本業務に対する取組意欲が感じられたか。 ・質疑応答時に審査委員からの質問に対しての対応は適切で分かりやすかったか。	2 0
第2次審査 小 計			1 0 0
第1次審査 小 計			3 0
合 計			1 3 0

第4期米原市教育振興基本計画策定業務に係る公募型プロポーザル評価基準および評価点数【第1次審査】

提 案 者				
審査員名	米原市教育委員会事務局 教育総務課			
評価項目	評価のポイント	評価および評価点数		
会社における業務実績	会社における業務の実績状況 同種業務……教育振興基本計画策定業務 類似業務……総合計画策定業務	同種業務の実績がある	5	
		類似業務の実績がある	3	
業務実施体制	担当者の配置人数	4人以上	5	
		3人	3	
		2人以下	1	
管理責任者における業務実績	管理責任者における業務の実績状況	同種業務の実績がある	5	
		類似業務の実績がある	3	
		いずれの実績もない	0	
管理責任者における保有資格		専門社会調査士を保有している	5	
		社会調査士を保有している	3	
		いずれも保有していない	0	
参考見積書	・提出された参考見積書の金額（税込）に、次の算出式により評価点を算出する。 ・小数点以下は切り捨てる。 ※配点－（（見積金額－最低見積金額）×（配点÷（限度額－最低見積金額））		0～10	
合 計			30	

